

東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社長
内 田 海基夫 様

J R 八高線に関する要望書

平成 2 9 年 2 月 6 日

瑞 穂 町
瑞 穂 町 議 会

J R 八高線に関する要望書

立春の節、貴社におかれましてはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、J R 八高線は、町唯一の軌道系交通機関として、町の活性化に欠くことのできない極めて重要な役割を担っております。

町では箱根ヶ崎駅を「町の顔」として位置づけ、西側を「箱根ヶ崎駅西土地地区画整理事業」により整備し、着々と進展しております。また、東側は東京都を主体とした駅前広場をはじめとする周辺整備事業が完了し、駅利用客の利便性が向上しました。

統計では通勤・通学等により、毎日2万3千人以上が瑞穂町に出入りしております。箱根ヶ崎駅利用者数も平成27年度は一日平均4千4百人と、年々増加傾向にあります。このように交通需要は大きいものの、八高線の本数の少なさ、午前0時以降の運行が無いこと、地方交通路線のため運賃が高い等の理由から、多くの町民が八高線に不便を感じ、自家用車等を利用しているのが現状であります。

また、多摩都市モノレールについて、昨年4月に、交通政策審議会から「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が答申され、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」の一つに、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸が位置付けられました。この延伸の実現による八高線との接続は、交通利便性の向上に大きく繋がります。

このようなことから、町民の中では八高線の運行本数の増発、新駅の設置、車両基地の建設及び複線化等の利便性向上への期待が非常に高まっております。

しかしながら、平成22年の車両基地及び拝島～箱根ヶ崎駅間の複線化計画を当面着手しないとの発表は、今後のまちづくりに甚大な影響を与えるものであり、町及び町議会としては容認することはできません。

町及び町議会では、現在推進している箱根ヶ崎駅西・殿ヶ谷の2地区に加え、箱根ヶ崎駅と金子駅のほぼ中間に位置する栗原地区の土地
区画整理事業計画を進めるなど、沿線開発を積極的に進め、貴社の事
業に引き続き協力してまいりますので、一日も早い現計画の凍結解除
と事業着手について特段の御配慮を賜りますよう要望いたします。

要 望 事 項

- 1 列車の増結や運行本数の増発等、特に朝夕のラッシュ時及び
2 4時台において、より一層利便性の向上を図られたい。
- 2 東京方面直通電車の増発を上下線共に図られたい。
- 3 箱根ヶ崎～金子駅間に位置する「栗原地区土地区画整理事業」
予定地内に新駅の設置を図られたい。
- 4 東福生～箱根ヶ崎駅間に新駅の設置を図られたい。
- 5 車両基地及び拝島～箱根ヶ崎駅間の複線化計画の早期実現を
図られたい。
- 6 地方交通線から幹線への昇格(運賃格差の是正)を図られたい。
- 7 朝夕ラッシュ時のホーム上の混雑等による線路上への転落防
止のため、ホームドア又は可動式ホーム柵を整備されたい。

平成29年2月6日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 石 塚 幸右衛門

瑞穂町議会

議 長 高 水 永 雄

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委 員 長 原 成 兆